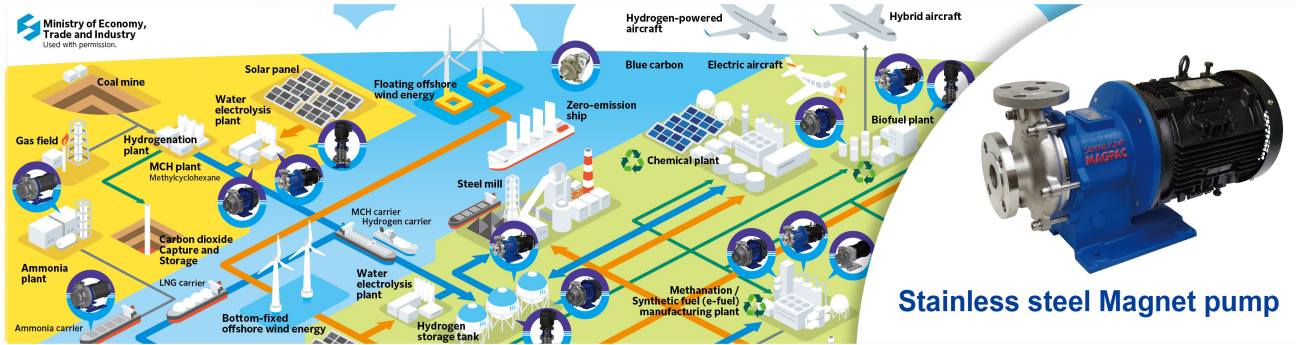




# マグネットポンプ技術によるNET-ZERO社会への挑戦

三和ハイドロテックは、ステンレスマグネットポンプのトップメーカーとして、NET-ZERO社会の実現に向けた技術革新を推進。



Stainless steel Magnet pump

1934年、ステンレス鑄造のパイオニアとして創業した三和ハイドロテック株式会社は、ステンレスマグネットポンプにおける国内トップのメーカーへと成長してきた。新しいニッチ市場を創出し、そのリーディングメーカーになるという戦略的ビジョンのもと、従来の石油化学分野のみにとどまらず、半導体、液晶、エネルギー、食品産業など、さまざまな産業に事業を拡大してきたのだ。



「私たちがマグネットポンプの開発を始めた背景は、環境への意識の変化にあります。特に石油化学業界で、自然環境と人体を守るために、有害・有毒な液体の漏洩を防ぐポンプの需要が増えていました。私たちはそのニーズに応えるべく、耐食性・耐久性に優れた無漏洩マグネットポンプの開発に取り組み、2022年には全世界で20万台に迫る累計販売台数実績を達成。LPG輸送トラック用、データセンター冷却システム用、半導体用、食品産業用無菌対応ポンプなど、

さまざまな用途での利用が広がっています。この結果、私たちは金属製マグネットポンプのトップメーカーとしての地位を築くことができました。創立100周年を目前に、私たちは2つの大きな目標を掲げています。ひとつは、三和ポンプの世界的な認知度の向上。もうひとつは、強固なパートナーシップの構築です。

これらの目標を達成するため、2024年にドイツで開催される世界最大の化学機械展示会、ACHEMAに再び出展します。私たちの若手プロフェッショナルチームが中心となり、三和ポンプのグローバル展開を

推進。海外代理店との関係をさらに深化し、新しいビジネスパートナーシップを築いていく予定です。」

「三和ハイドロテックでは、NET-ZEROをグローバル事業の新しい中心として位置づけています。私たちのマグネットポンプは、NET-ZERO実現に向けた新規産業の中で、重要性を増しているのです。なぜなら、このポンプは消耗品の使用が少なく、

高効率で、追加の設備なしで稼働するため、NET-ZEROの取り組みに最適だからです。実際に、ペットボトルのケミカルリサイクルや、スマートフォンの心臓部であるリチウムイオン電池の製造、そして水素自動車の燃料供給ステーションなど、多くの場面で既に活用されており、CO2排出量を経済的に削減するためのメタン化技術や、グリーン水素の製造、CO2の分離・回収システムなど、最新の技術への採用実績も増えていきます。」

「NET-ZERO技術はまだ発展途上であり、その中でポンプに求められる要件は日々変わっています。私たちはこれらの変化を先読みし、潜在的なニーズを探ることで、NET-ZEROの実現への貢献を目指しています。特に注目しているのは、液化アンモニアガス用のマグネットポンプの開発です。アンモニアガスは人体に有害であり、可燃性があるため、漏れが起きないような設計や、高圧・低温の環境にも耐えられる性能が求められるのです。」



「マグネットポンプの可能性は、必ず今後世界的に拡大していきます。」

三和ハイドロテック株式会社  
代表取締役社長 堀内 清隆

これらの要件は非常に厳しいものですが、これを満たすことができれば、アンモニアを新しいエネルギー源としての可能性を拡大できると考えています。」

三和ハイドロテックは、創業者の志を受け継ぎ、新技術、新材料、新製品の開発に日々取り組み、NET-ZERO市場の開拓を進め、技術的なノウハウと高い付加価値を持つ商品で業界をリードすることを目標としている。顧客が抱える現在のニーズに応えるだけでなく、パートナーとの関係を深め未来のニーズを予測すること。このアプローチにより、専門性の高い市場でのリーダーシップを確立し、特にNET-ZERO業界で欠かせない存在となることを目指しているのだ。

**SANWA PUMP**

www.sanwapump.co.jp